

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	山岳救助活動における二次災害
3. 体験した事例の中心的要素	登山愛好家が積雪期限内で登山するルートにおいて発生した検索救助事案で、隊員が活動中(稜線に沿って検索中)にルートを外れるおそれがあったもの。 登山ルートは整備されておらず、活動当日は積雪はなく活動範囲の周囲360度が笹藪と灌木帯である。
4. 体験した事例の原因・理由	情報不足 経験不足

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。(延焼の広がりが思ったより早かった等)
------------------	---------------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成28年5月8日 午前10時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外:稜線
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	死亡していた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	その他:遭難
7. 事例体験時の活動	救助現場活動初期
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	人命検索・救出
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[39]歳、勤続年数[20]年、現場経験年数[20]年、階級[消防司令補] 同様の活動[数年に1度程度]、任務[車長]
○当事者B	年齢[33]歳、勤続年数[11]年、現場経験年数[11]年、階級[消防士長] 同様の活動[過去に1,2回程]、任務[隊員]
○当事者C	年齢[31]歳、勤続年数[9]年、現場経験年数[9]年、階級[消防士長] 同様の活動[過去に1,2回程]、任務[隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	当事者D 29歳、勤続7年、消防士長、初めて、機関員 当事者E 27歳、勤続5年、消防副士長、初めて、隊員

11. 事例発生時の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	活動指揮者	各隊に検索範囲を指定し、手分けして検索活動する	
経過2	A、B、C、D、E (山岳救助隊)	航空隊により稜線上の分岐付近に現場投入	
経過3	A、B、C、D、E (山岳救助隊)	分岐付近から山頂方向に向かって稜線に沿って検索活動	
経過4	A、B、C、D、E (山岳救助隊)	発見にいたらず、予定していた活動終了時間になったため引揚指示	
経過5	A、B、C、D、E (山岳救助隊)	現場投入された分岐付近に戻る	
経過6	A、B、C、D、E (山岳救助隊)	航空隊により分岐付近から回収、活動終了	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が優れていた 危険情報を把握、予見できた 集中力、注意力があった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

当隊の活動範囲に至った経験がないため、活動のイメージがでせず、適切な留意事項を指示できなかった。
--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について